

II. 海外経済

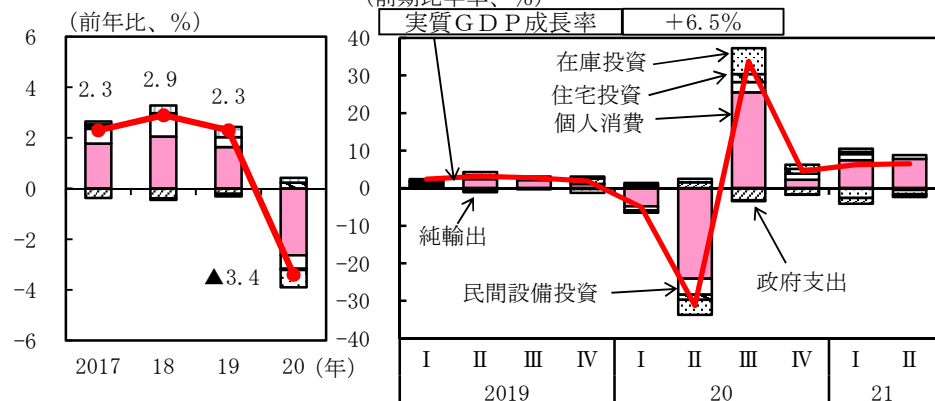
		7月月例	8月月例
世界経済		<p>世界の景気は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、依然として厳しい状況にあるが、持ち直している。先行きについては、持ち直しが続くことが期待される。ただし、<u>感染の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</u></p>	<p>世界の景気は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、<u>一部で依然として厳しい状況にあるが、持ち直している。</u>先行きについては、持ち直しが続くことが期待される。ただし、<u>一部地域を中心とした感染の再拡大によるリスクに留意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</u></p>
アメリカ		<p>アメリカでは、景気は<u>依然として厳しい状況にあるが、着実に持ち直している。</u>先行きについては、着実な持ち直しが続くことが期待される。ただし、国内外の感染の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p>	<p>アメリカでは、景気は着実に持ち直している。先行きについては、着実な持ち直しが続くことが期待される。ただし、国内外の感染の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p>
アジア地域	中国	<p>中国では、景気は緩やかに回復している。先行きについては、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、国内外の感染の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p>	<p>中国では、景気は緩やかに回復している。先行きについては、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、国内外の感染の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p>
	その他アジア	<p>韓国では、景気は持ち直している。台湾では、景気は回復している。インドネシアでは、景気は厳しい状況にあるが、<u>持ち直しの動きがみられる。</u>タイでは、景気は厳しい状況にあるが、<u>下げ止まっている。</u>インドでは、景気は厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。<u>ただし、足下の感染の再拡大が経済活動に与える影響によっては、景気が下振れするリスクがある。</u></p>	<p>韓国では、景気は持ち直している。台湾では、景気は回復している。インドネシアでは、景気は厳しい状況にある<u>なかで、感染の再拡大により、足下で景気は下押しされている。</u>タイでは、景気は厳しい状況にある<u>なかで、感染の再拡大により、足下で景気は下押しされている。</u>インドでは、景気は厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。</p>
ヨーロッパ地域	ユーロ圏	<p>ユーロ圏では、景気は依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。ドイツにおいても、景気は依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。先行きについては、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、圏内外の感染の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p>	<p>ユーロ圏では、景気は依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。ドイツにおいても、景気は依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。先行きについては、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、圏内外の感染の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p>
	英国	<p>英国では、景気は依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの<u>動きがみられる。</u>先行きについては、持ち直しの<u>動き</u>が続くことが期待される。ただし、感染の再拡大によるリスクに留意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p>	<p>英国では、景気は依然として厳しい状況にあるが、持ち直し<u>している。</u>先行きについては、持ち直しが続くことが期待される。ただし、感染の再拡大によるリスクに留意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p>

(注) 下線部は先月から変更した部分。

1. アメリカ

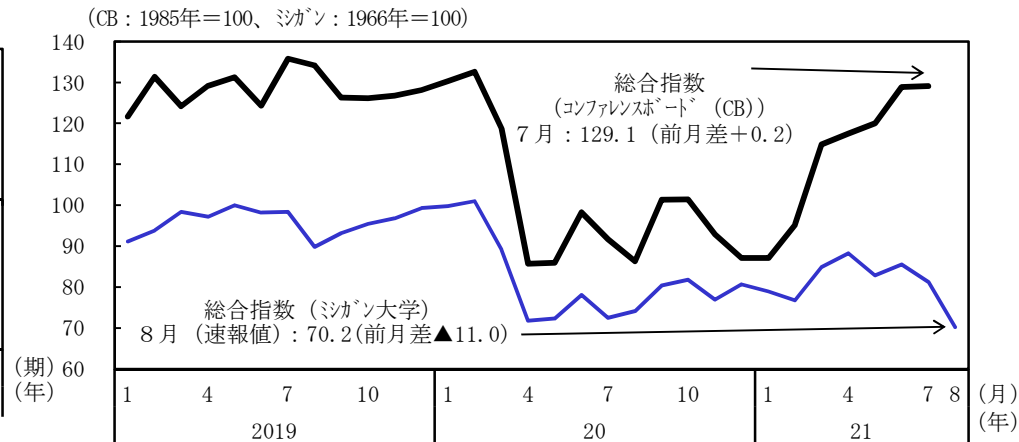
○アメリカでは、景気は着実に持ち直している。

①実質GDP成長率（1次推計値）
2021年4-6月期は前期比年率+6.5%成長
(前期比年率、%)

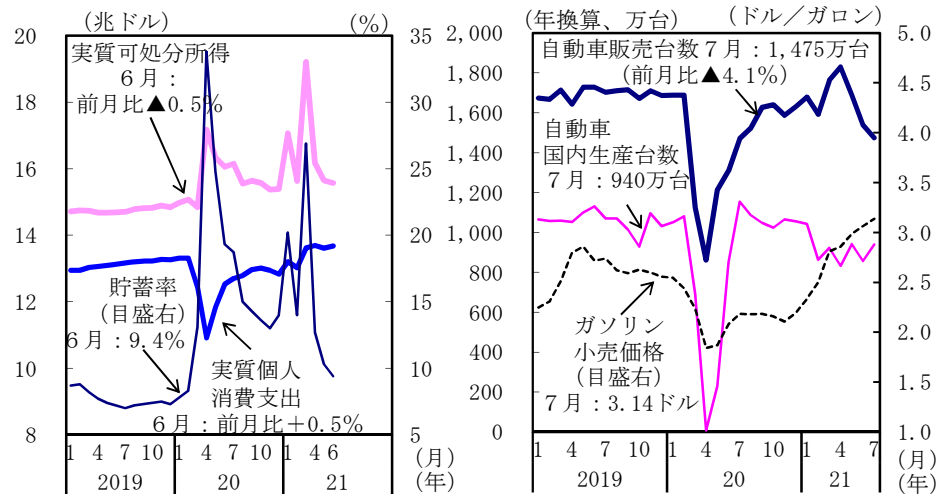


(備考) 2021年4-6月期の寄与度 (%) は以下のとおり。個人消費：+7.8、民間設備投資：+1.1、住宅投資：▲0.5、在庫投資：▲1.1、政府支出：▲0.3、純輸出：▲0.4。

消費者信頼感指数

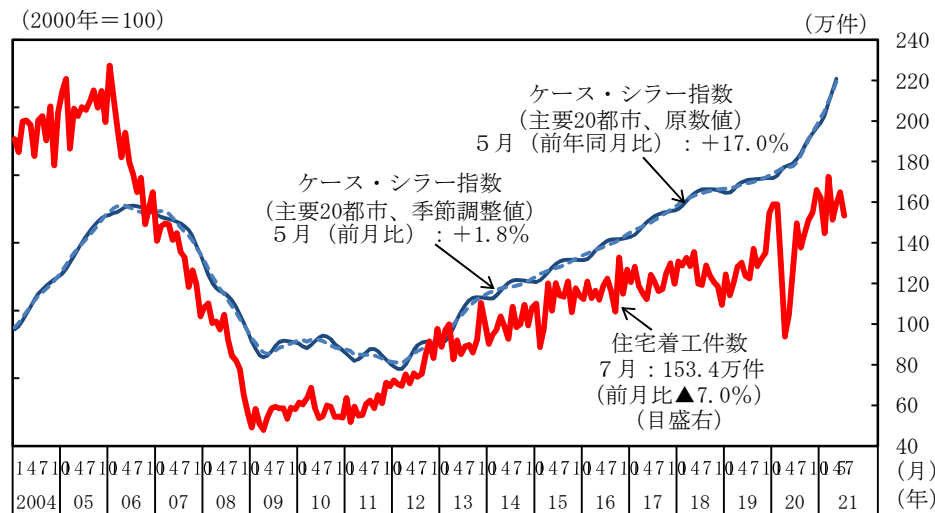


②消費は着実に持ち直し、
自動車販売台数はこのところ弱含み

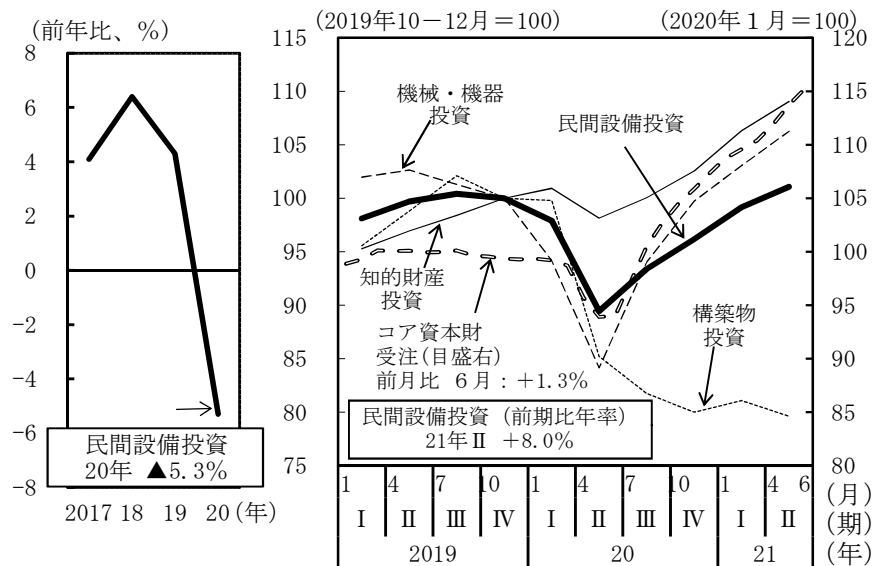


(備考) 月次の値は年率換算。

③住宅着工はこのところ増勢が鈍化、住宅価格は上昇

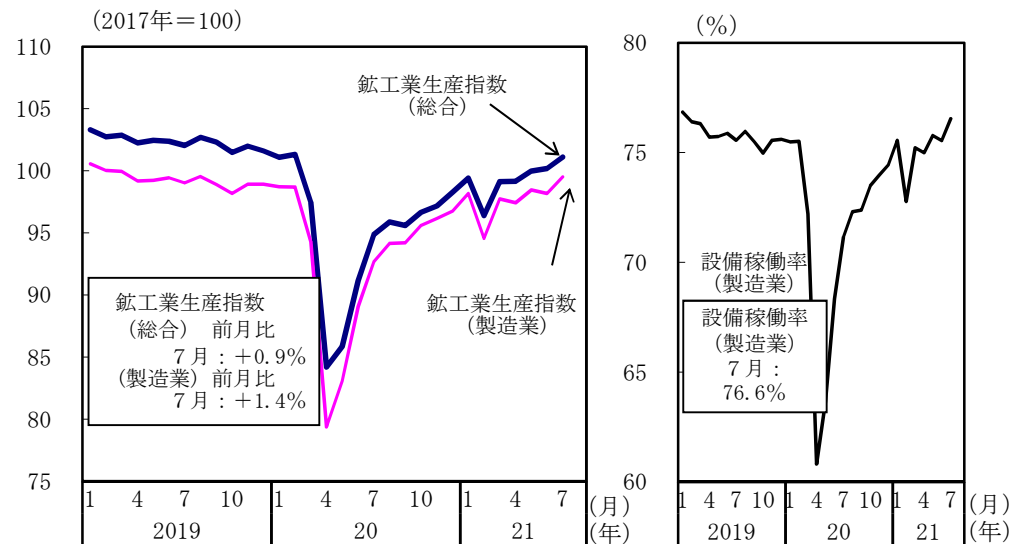


④設備投資は緩やかに増加

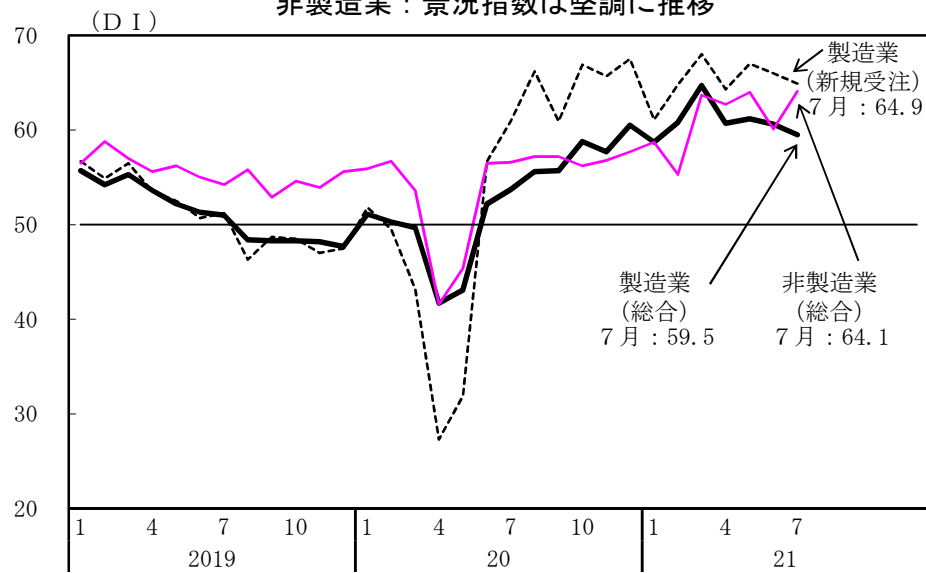


(備考) コア資本財受注は3か月移動平均値。

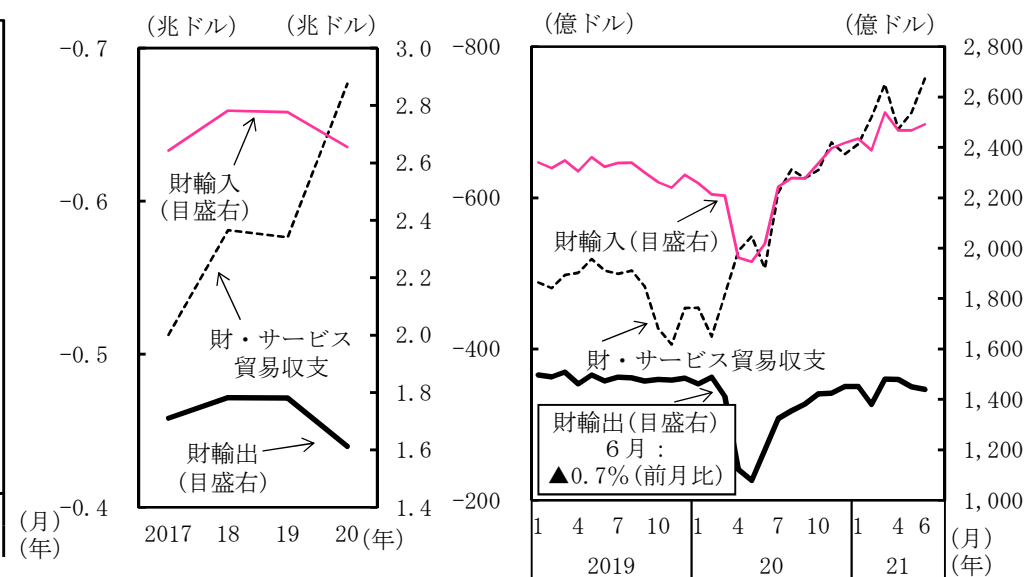
⑤生産は持ち直し



製造業 : 景況指数は堅調に推移
非製造業 : 景況指数は堅調に推移

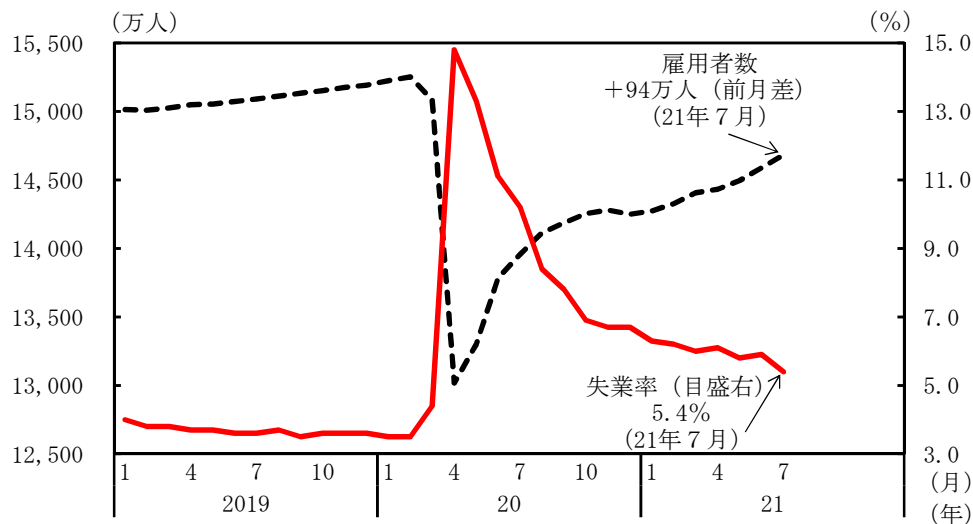


⑥財輸出は持ち直し



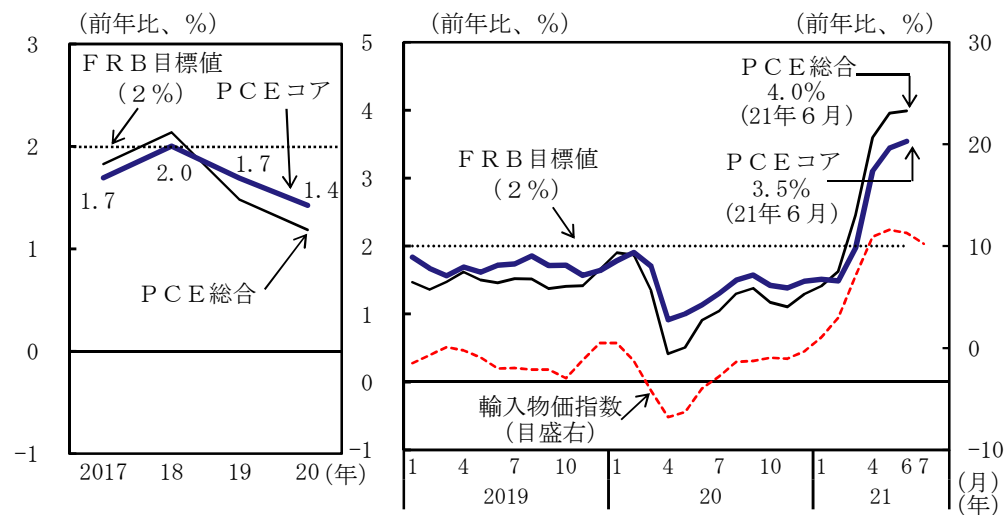
(備考) 財輸出入は通関ベース(実質)、財・サービス貿易収支は国際収支ベース(名目)。

⑦雇用者数は増加、失業率は低下



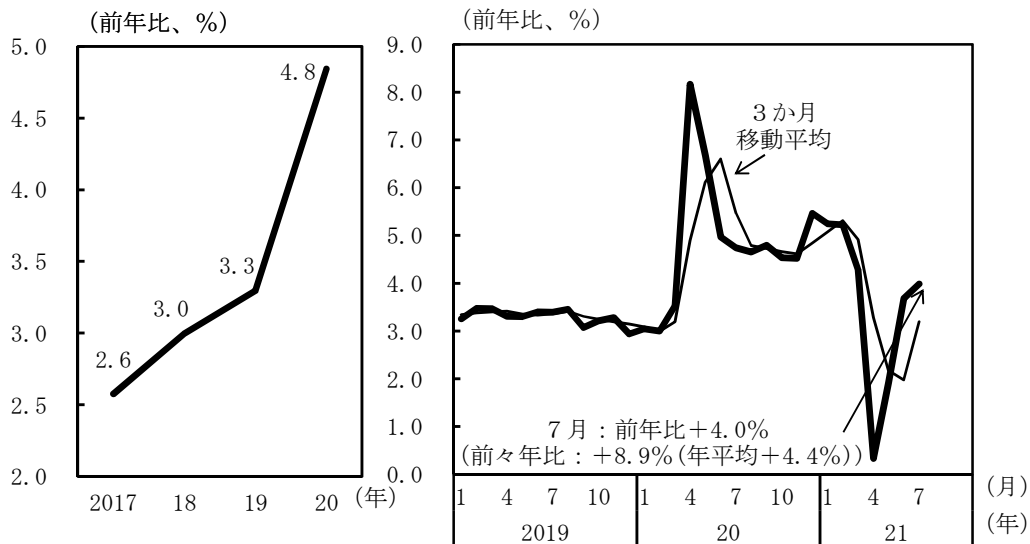
(備考) 雇用者数は非農業部門。

⑧コア物価上昇率は上昇



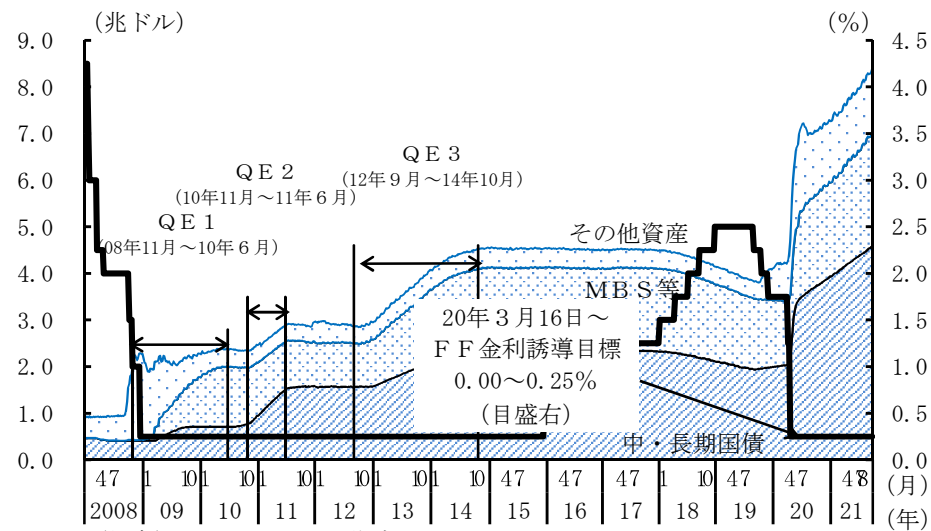
(備考) 1. 上図のPCEは、個人消費支出デフレーターを指す。
2. コア指数は、総合指数からエネルギーと食品を除いた指数。

賃金の伸びは上昇



(備考) 賃金の伸びは全雇用者の時間当たり賃金の前年比。

金融政策



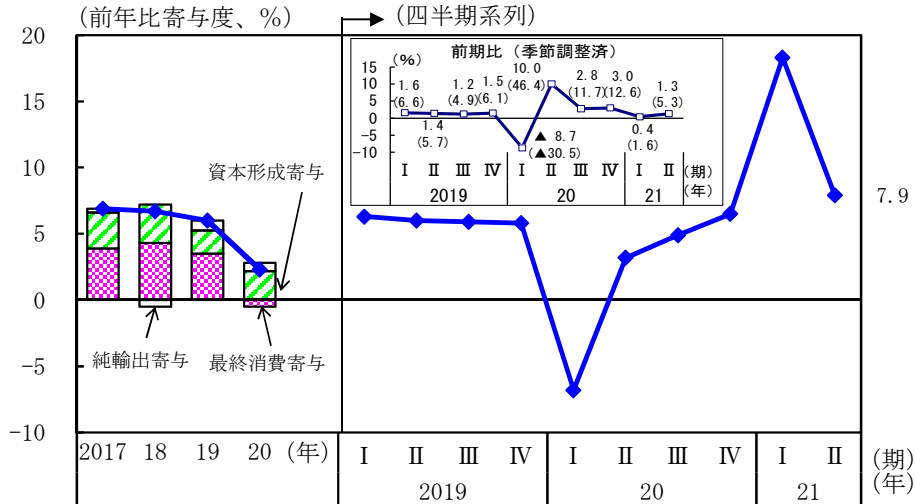
(備考) 1. FRBより作成。
2. FF金利誘導目標については、上限を指す。

2. アジア地域

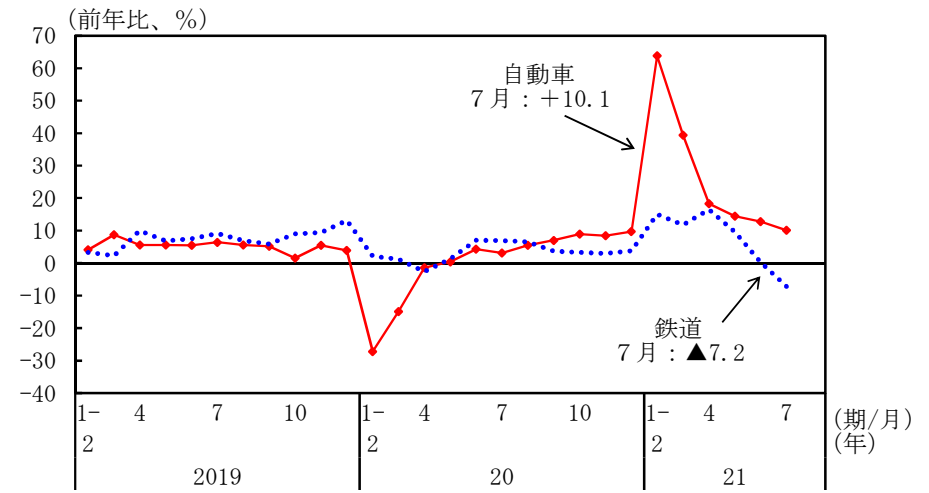
中国：

○中国では、景気は緩やかに回復している。

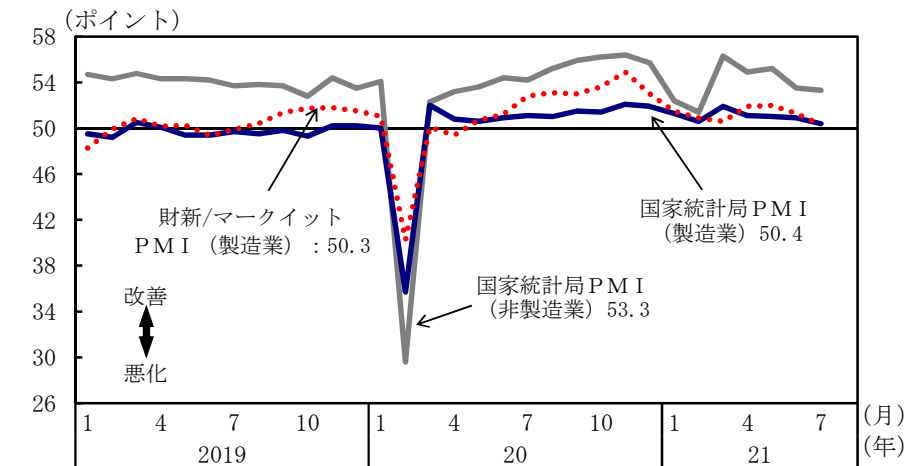
①実質GDP成長率



貨物輸送 (自動車、鉄道)

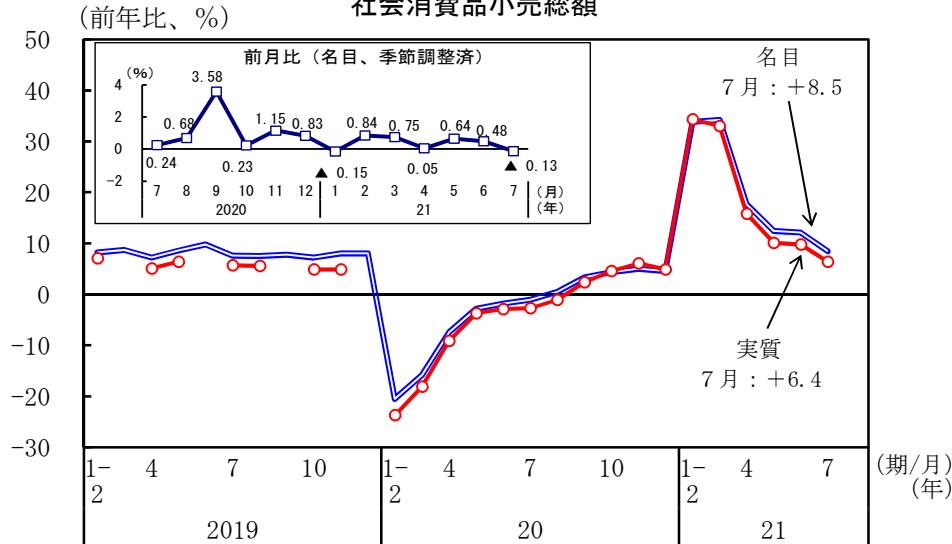


②輸出は着実に増加している

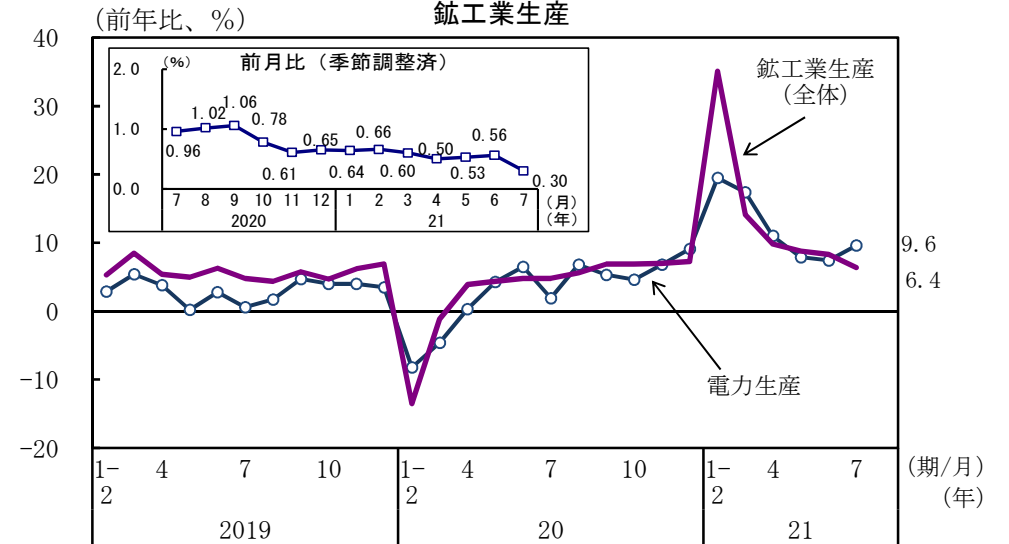


(備考) 1. 国家統計局、財新/マーケットより作成。財新は中国の経済メディアであり、マーケット社との共同調査により、独自にPMIを発表している。
2. 製造業・非製造業の業況に関わる各項目について企業調査を行い、各々が前月に比べてどう変わったのかを集計。
3. 統計対象社数は、国家統計局が3,000社(製造業)、4,000社(非製造業)、財新/マーケットが500社以上。

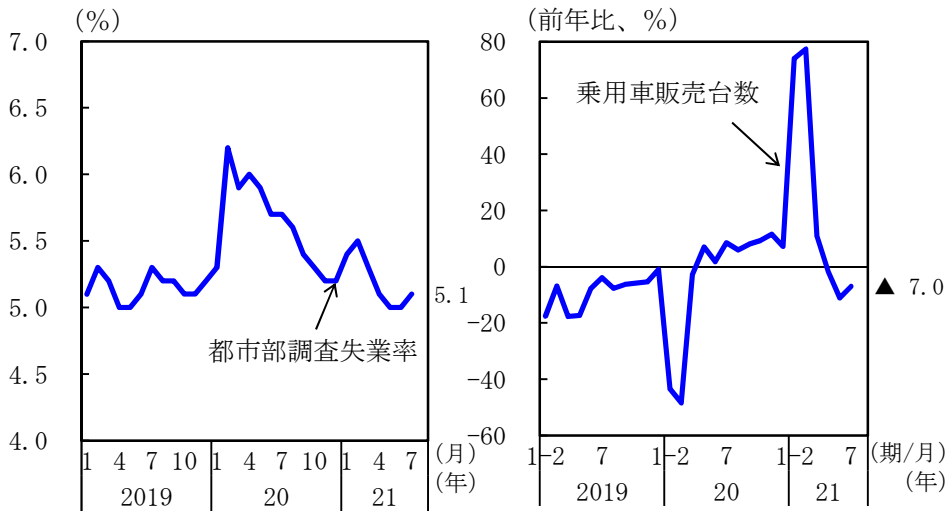
③消費は持ち直しに足踏みがみられる
社会消費品小売総額



④生産は伸びがやや低下している
鉱工業生産

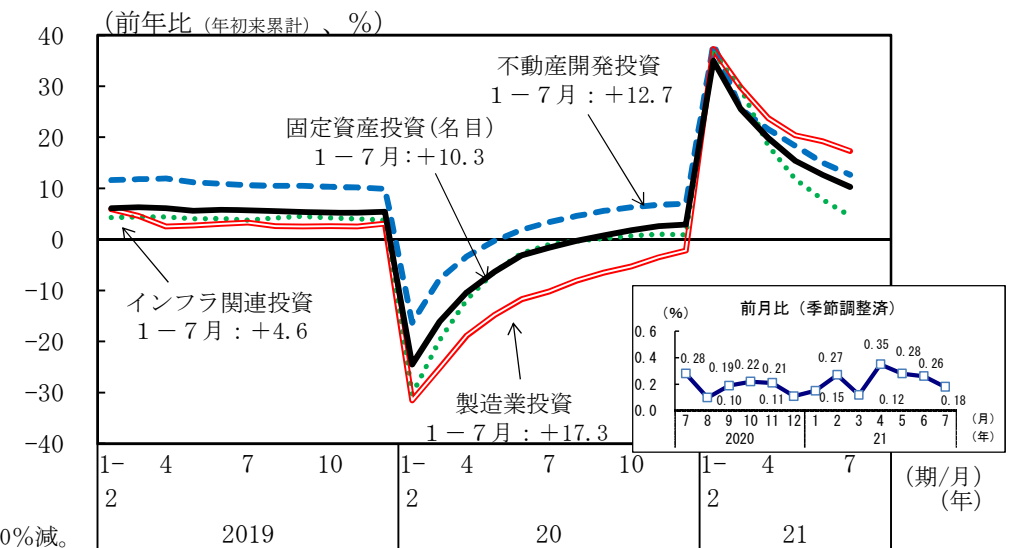


都市部調査失業率はこのところ横ばい
乗用車販売台数はこのところ弱含んでいる

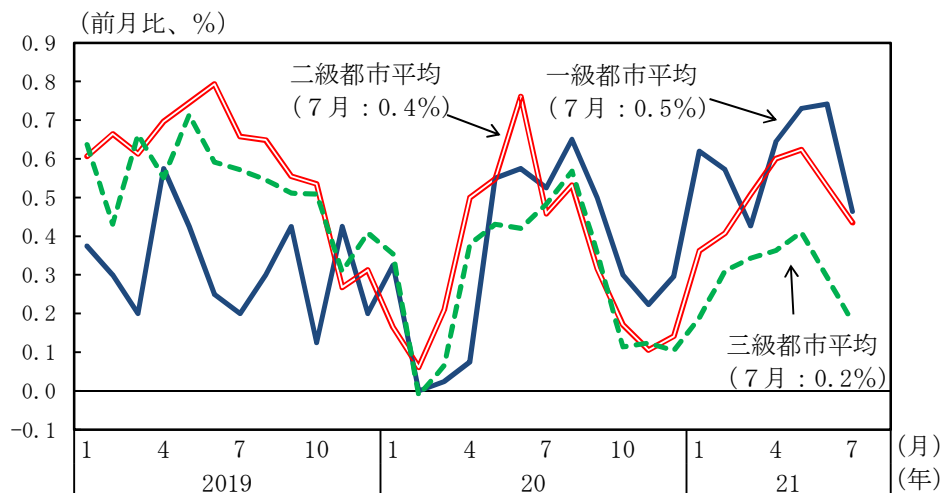


(備考) 乗用車販売台数は出荷ベース。年間販売台数 (前年比) は、19年9.6%減、20年6.0%減。

⑤固定資産投資は持ち直している

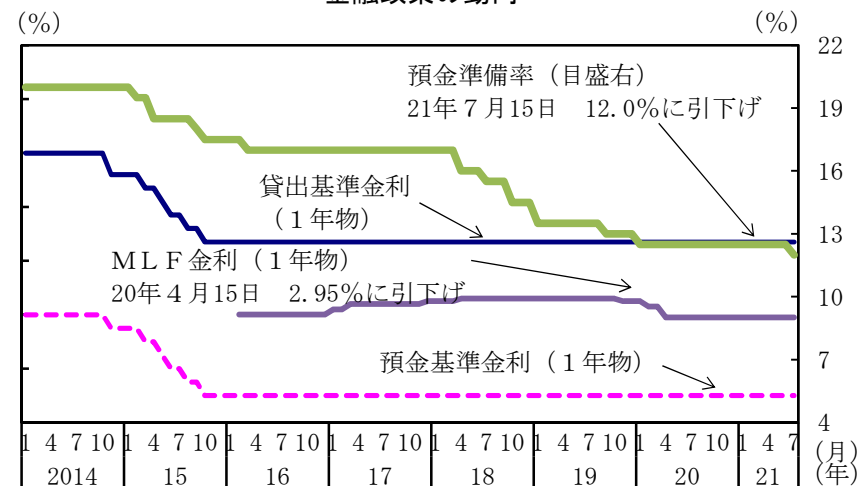


新築住宅販売価格は、このところ伸びが低下している



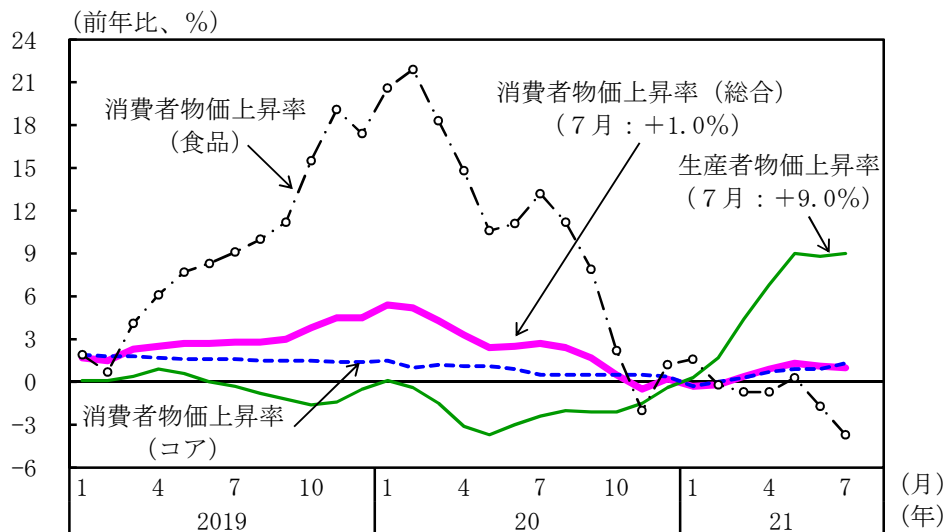
(備考) 一級、二級、三級都市平均は、該当する都市の価格指数の単純平均。

金融政策の動向



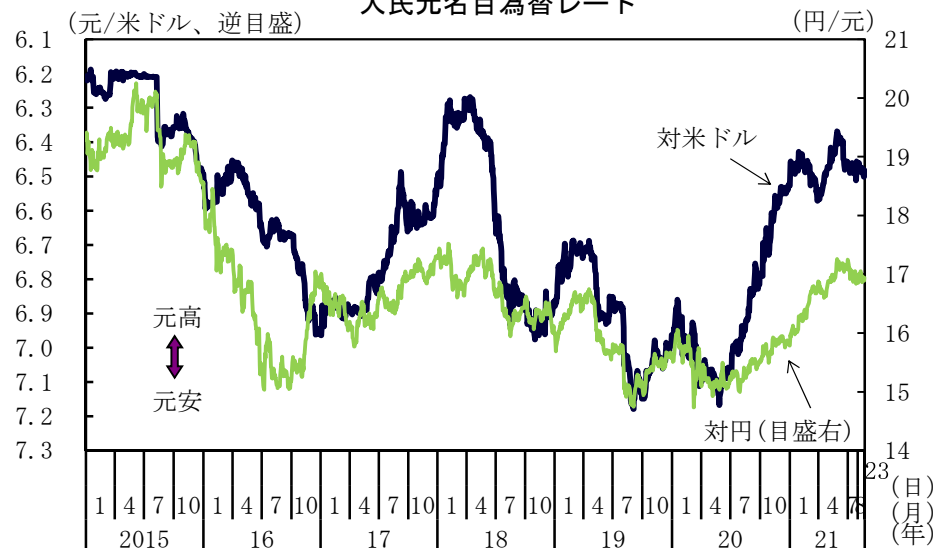
- (備考) 1. 預金準備率は、大手金融機関向けの預金準備率。
2. MLFとは中期貸出ファシリティの略。中央銀行から金融機関への資金供給手段の一つ。1年物は16年より実施。
3. 小企業・農家等に対する融資が一定割合以上等の条件を満たした金融機関の預金準備率を18年1月25日以降引き下げた(0.5%ポイントまたは1.5%ポイント)。

⑥消費者物価上昇率はこのところおおむね横ばいとなっている



(備考) コア消費者物価は、総合から食品とエネルギーを除いたもの。

人民元名目為替レート



(備考) 15年8月11日-13日、中国人民銀行は人民元取引基準値を前日比▲4.5%引下げ。元安誘導を実施。

その他アジア（韓国、台湾、インドネシア、タイ、インド）：

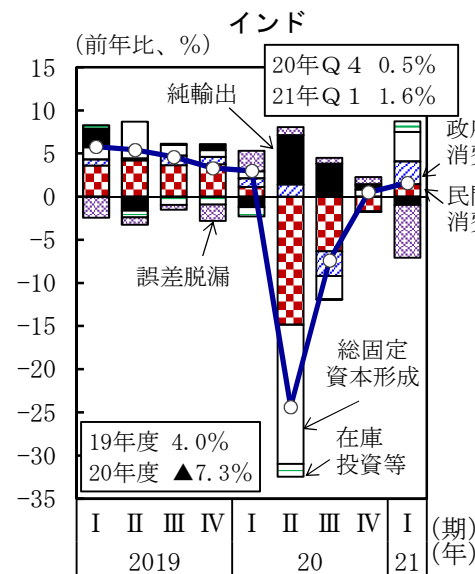
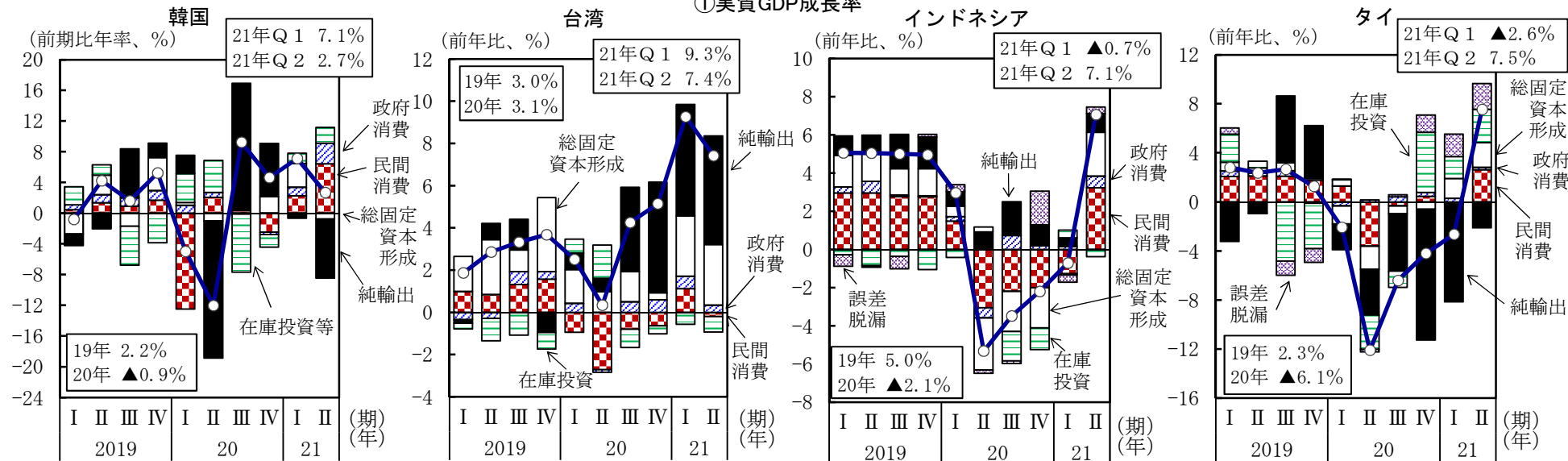
○韓国では、景気は持ち直している。台湾では、景気は回復している。

インドネシアでは、景気は厳しい状況にあるなかで、感染の再拡大により、足下で景気は下押しされている。

タイでは、景気は厳しい状況にあるなかで、感染の再拡大により、足下で景気は下押しされている。

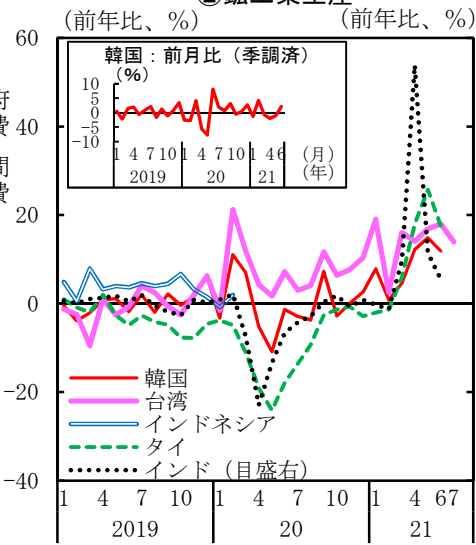
インドでは、景気は厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。

①実質GDP成長率



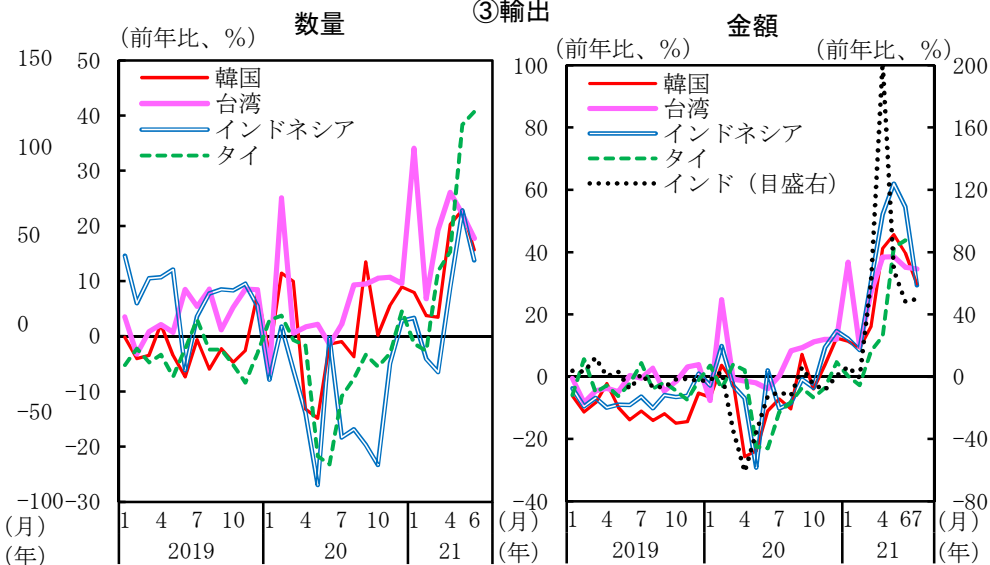
(備考) 年度は、4月～翌年3月。

②鉱工業生産



(備考) インドネシア、タイは製造業生産。

③輸出



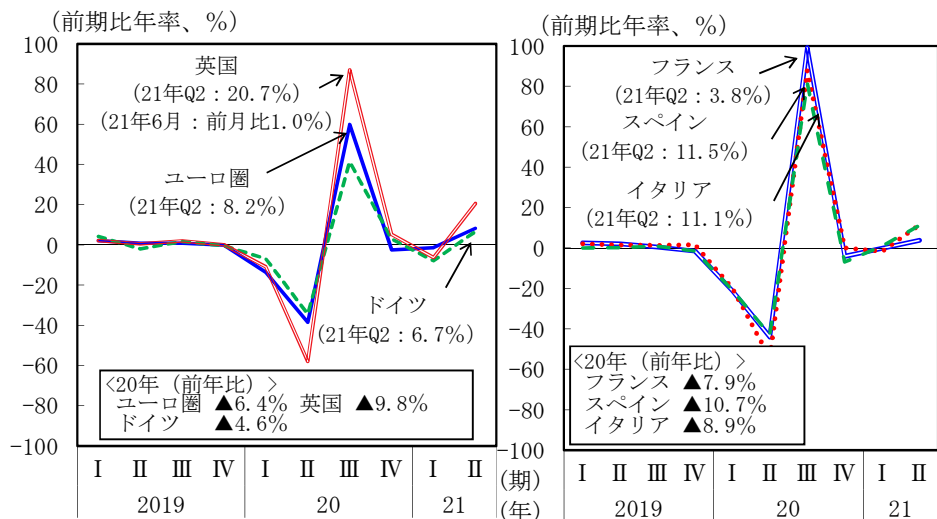
(備考) インドの数量は未公表。

(備考) ドルベース。

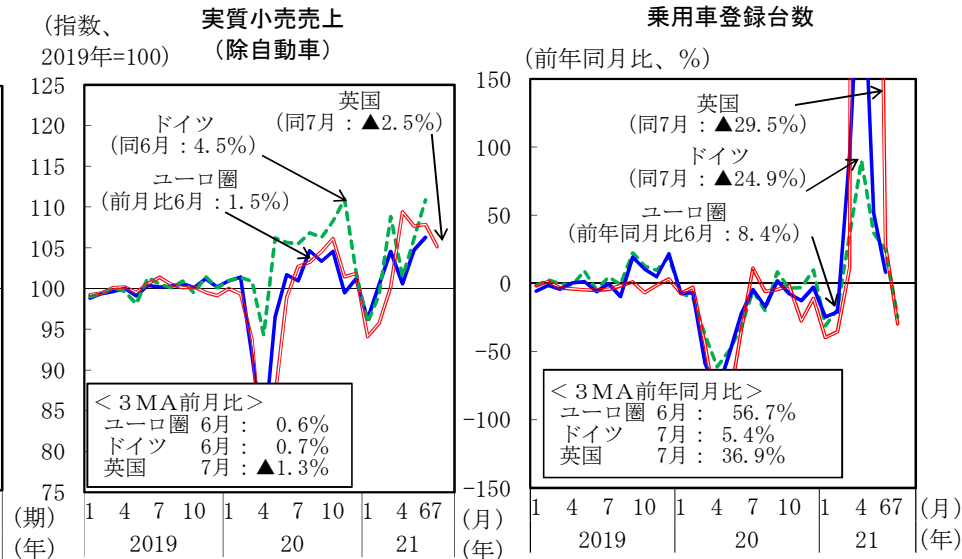
3. ヨーロッパ地域

○ヨーロッパ地域については、ユーロ圏では、景気は依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。
 ドイツにおいても、景気は依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。
 英国では、景気は依然として厳しい状況にあるが、持ち直している。

①GDP ユーロ圏：21年4-6月期は前期比年率8.2%成長
 英国：21年4-6月期は前期比年率20.7%成長

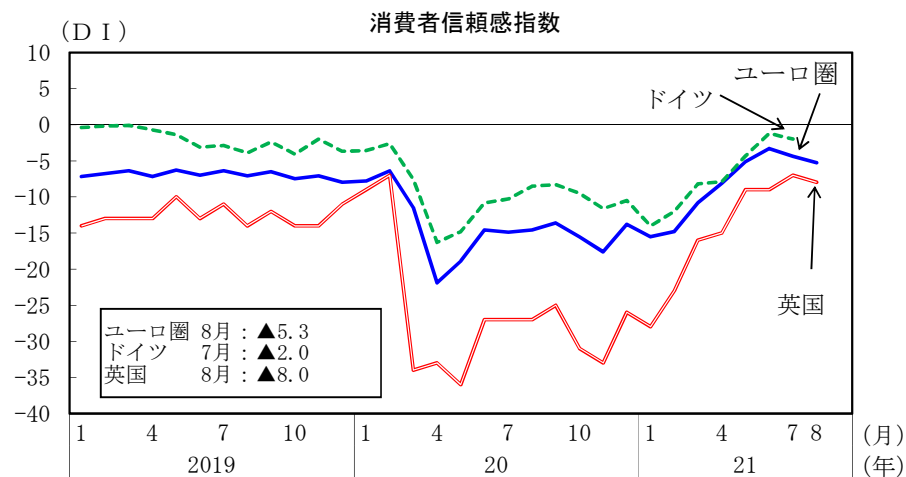
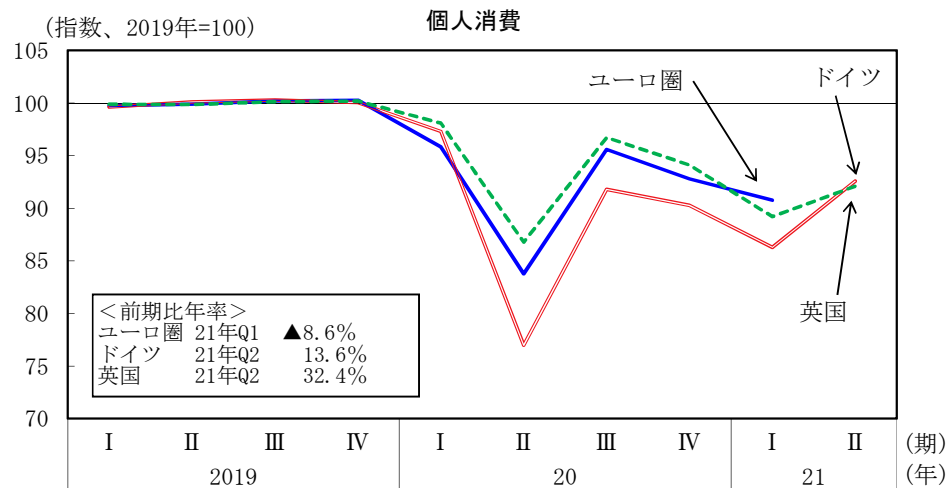


②個人消費



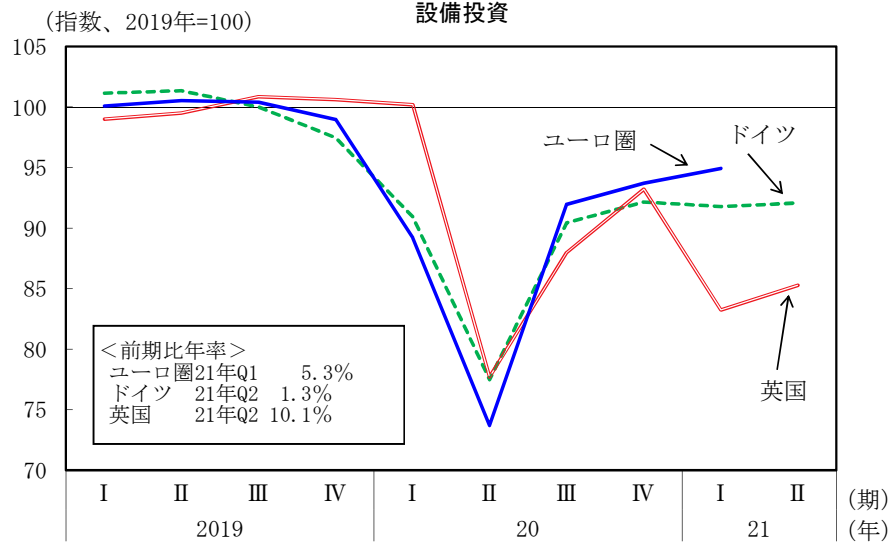
(備考) ユーロ圏は、キプロス、マルタを除く17か国ベース。

②個人消費 ユーロ圏：持ち直しの動きがみられる
 英国：持ち直している

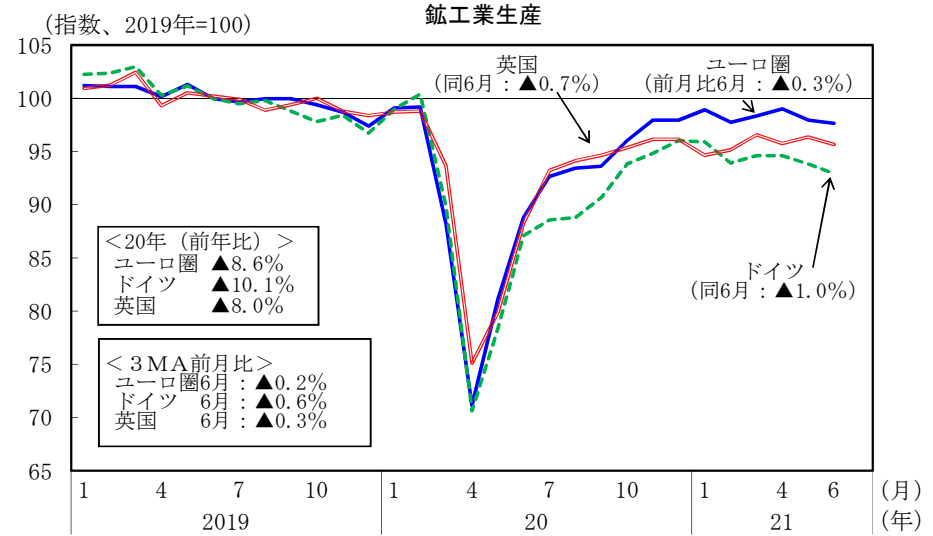


(備考) 1. 家計の財政状況、経済情勢見通し、高額商品購買意欲につき尋ねたもの。
 2. 英国は原数値。

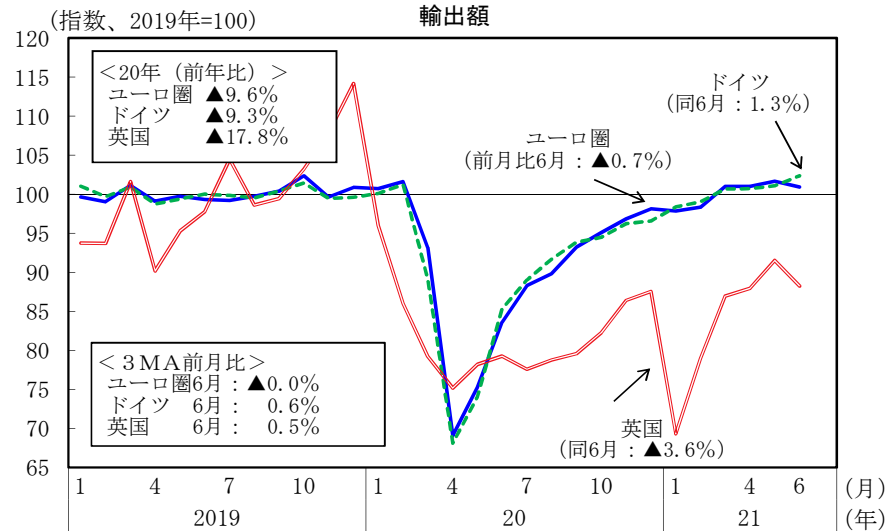
③設備投資 ユーロ圏：機械設備投資は持ち直している
英 国：設備投資は持ち直しの動きがみられる



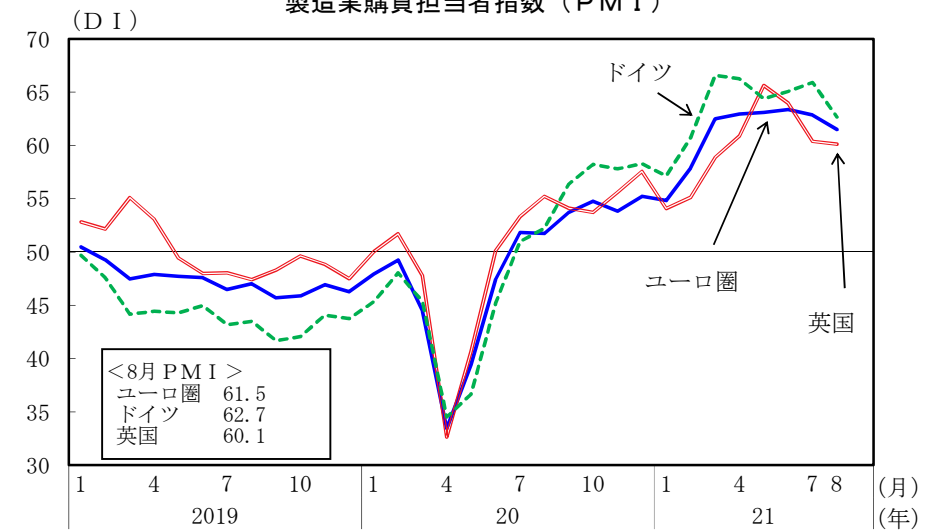
⑤生産 ユーロ圏：生産は横ばい
英 国：生産はこのところ横ばい



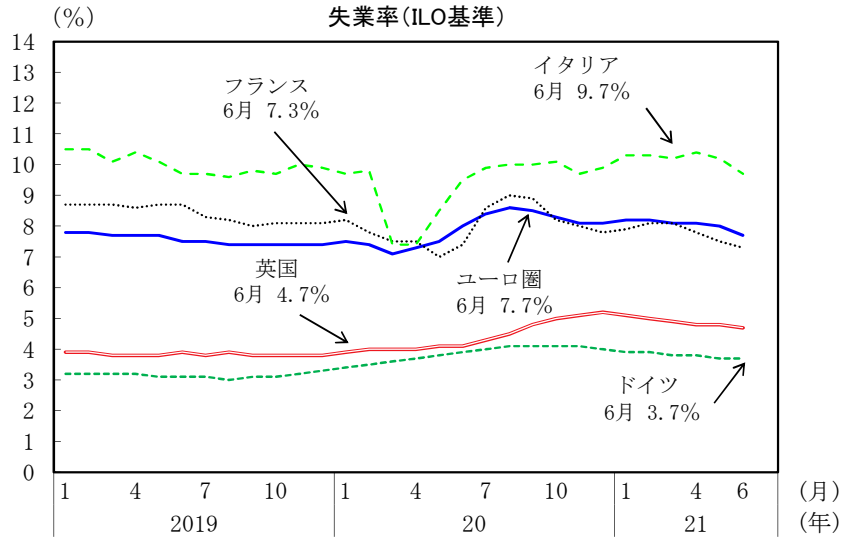
④輸出 ユーロ圏：輸出は足踏みがみられる
英 国：輸出は持ち直している



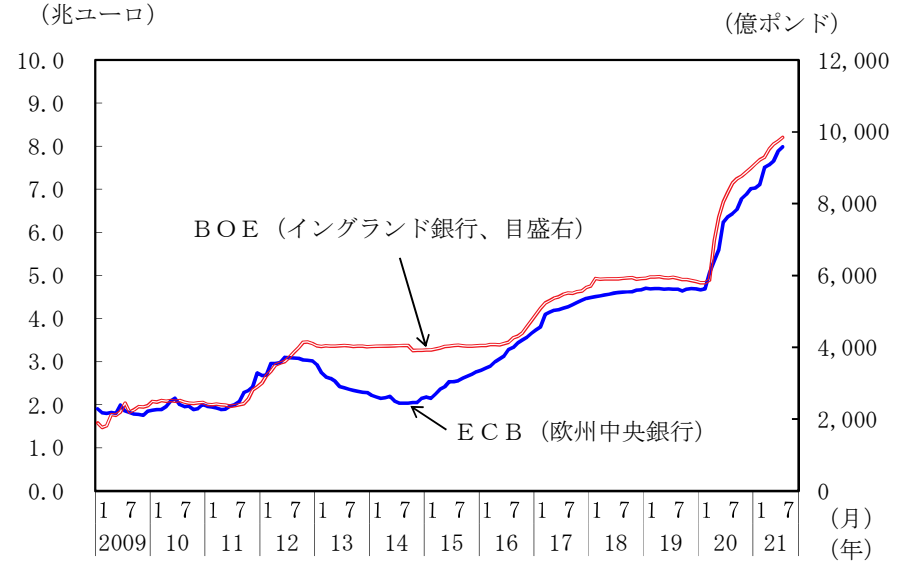
製造業購買担当者指数（PMI）



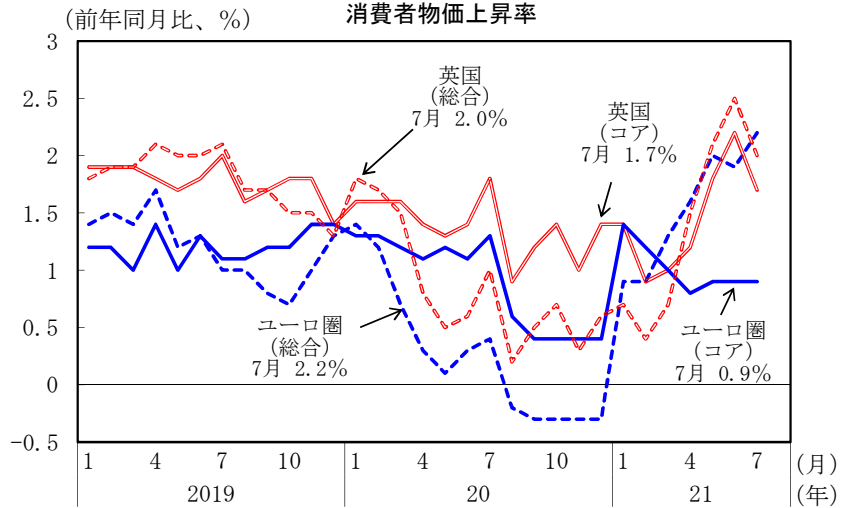
⑥雇用 ユーロ圏：失業率は低下している
英国：失業率は低下している



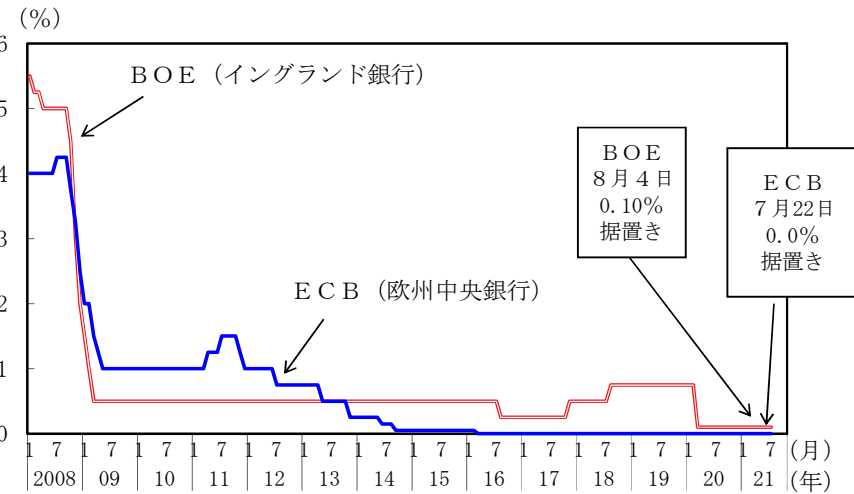
⑧中央銀行のバランスシート



⑦物価 ユーロ圏：コア物価上昇率は横ばい
英国：コア物価上昇率は上昇している



⑨政策金利 ユーロ圏：欧州中央銀行 (ECB) は据置き
英国：イングランド銀行 (BOE) は据置き

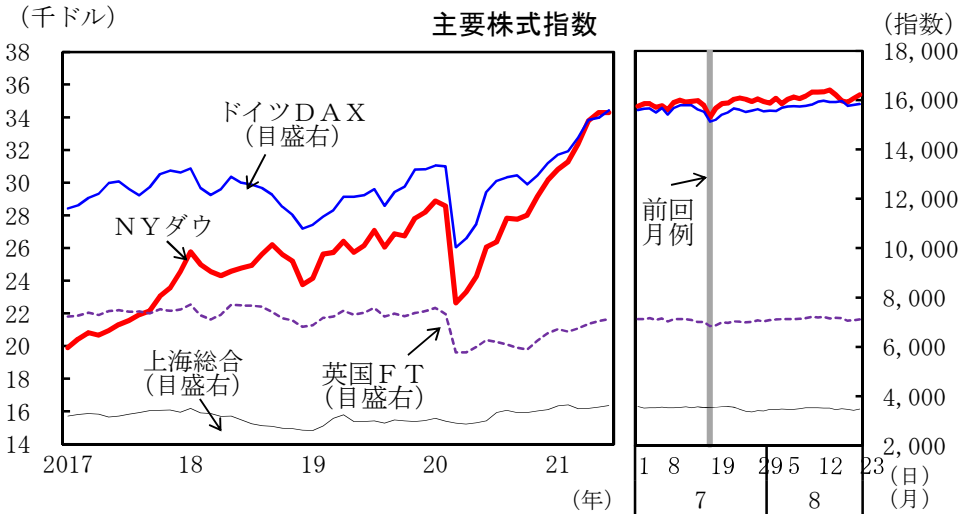


(備考) 1. ECBのインフレ目標は中期的に2%。BOEのインフレ目標は2%。
2. コア消費者物価は、総合からエネルギー、非加工食品を除いたもの。

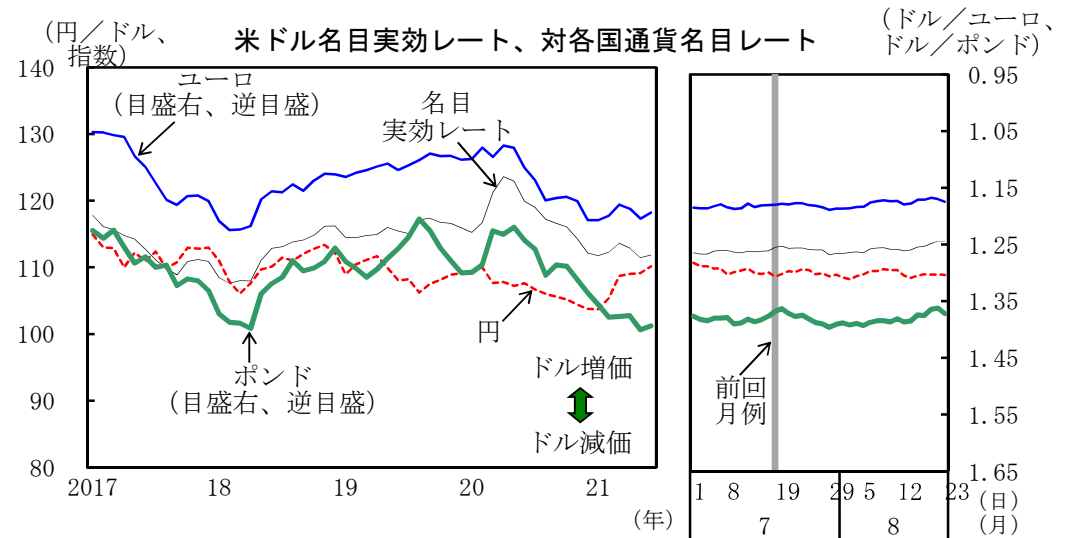
(備考) ECBでは、2014年6月より中銀預金金利にマイナス金利を適用 (現在▲0.50%)。その他に、スイス、デンマーク等で中銀預金金利にマイナス金利が適用されている。

4. 国際金融

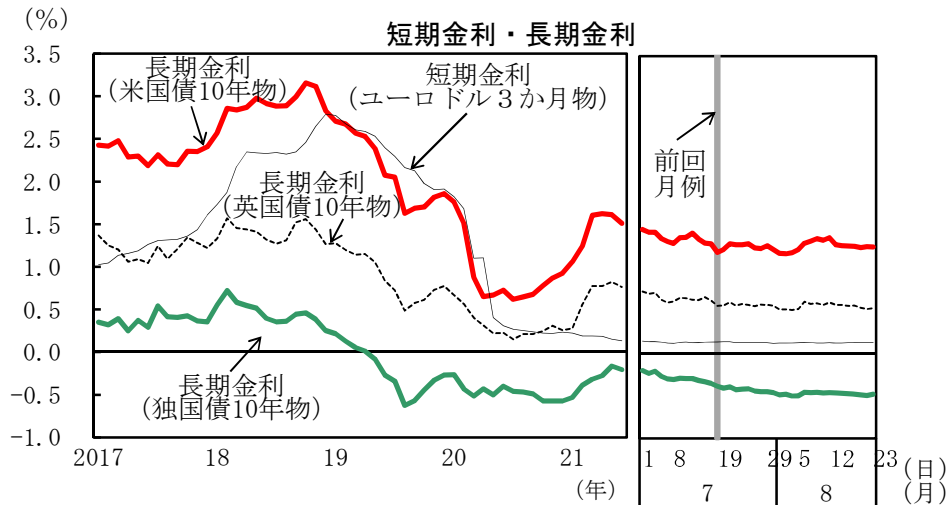
株価： アメリカ、英国及び中国ではおおむね横ばい、ドイツではやや上昇



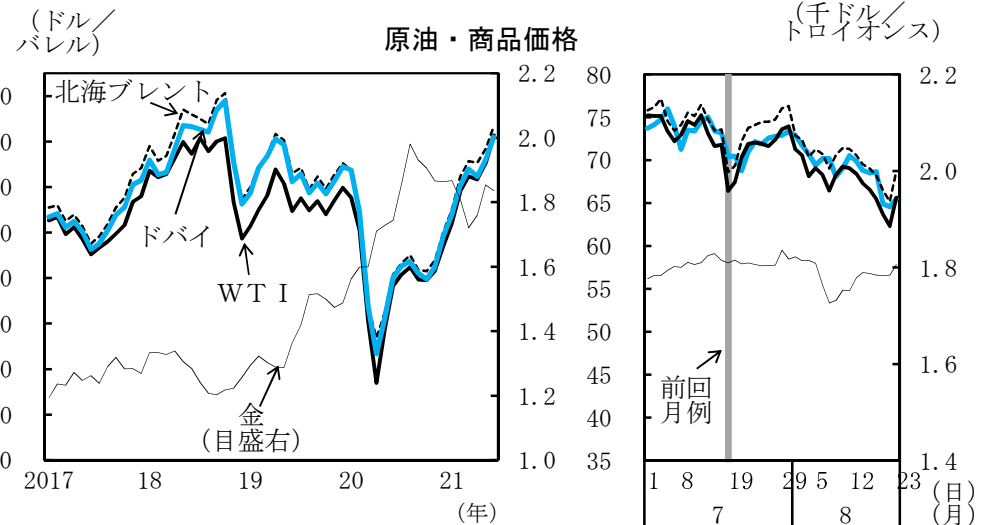
為替： ドルは、ユーロ、ポンド及び円に対しておおむね横ばい



短期金利： おおむね横ばい
長期金利： アメリカ、英国ではおおむね横ばい、ドイツではやや低下



原油価格 (WT I)： 下落
金価格： おおむね横ばい



(備考) いずれも、左図は日次の終値の月中平均値、右図は日次の終値。

主要経済指標の国際比較（1）

国・地域名	人口 (万人)	名目GDP (10億ドル)	1人当たりGDP (1,000ドル)	実質GDP成長率 (%)				鉱工業生産 (%)					失業率 (%)										
				2020年	2020年	2020年	2019年	2020年	21年		備考	2019年	2020年	21年			備考	2019年	2020年	21年			備考
									1-3月	4-6月				5月	6月	7月				5月	6月	7月	
日本	12,576	5,049	40.1	0.0	▲ 4.6	▲ 3.7	1.3	前期比年率	▲ 3.0	▲ 10.4	▲ 6.5	6.5		前期比	2.4	2.8	3.0	2.9					
アメリカ	33,009	20,933	63.4	2.3	▲ 3.4	6.3	6.5	前期比年率	▲ 0.8	▲ 7.2	0.8	0.2	0.9	前期比	3.7	8.1	5.8	5.9	5.4				
カナダ	3,797	1,643	43.3	1.9	▲ 5.3	5.6		前期比年率	▲ 0.2	▲ 8.5	0.2			前期比	5.7	9.6	8.2	7.8	7.5				
ユーロ圏	34,241	12,917	37.7	1.4	▲ 6.4	▲ 1.3	8.2	前期比年率	▲ 1.3	▲ 8.6	▲ 1.1	▲ 0.3		前期比	7.6	7.9	8.0	7.7					
ドイツ	8,316	3,803	45.7	1.1	▲ 4.6	▲ 7.8	6.7	前期比年率	▲ 4.4	▲ 10.1	▲ 0.8	▲ 1.0		前期比	3.2	3.9	3.7	3.7		ILO基準			
フランス	6,512	2,599	39.9	1.8	▲ 7.9	▲ 0.0	3.8	前期比年率	0.5	▲ 10.8	▲ 0.4	0.5		前期比	8.4	8.0	7.5	7.3					
イタリア	6,025	1,885	31.3	0.3	▲ 8.9	1.0	11.1	前期比年率	▲ 1.2	▲ 11.0	▲ 1.6	1.0		前期比	10.0	9.2	10.2	9.7					
スペイン	4,711	1,278	27.1	2.0	▲ 10.7	▲ 1.7	11.5	前期比年率	0.7	▲ 9.5	1.5	▲ 1.0		前期比	14.1	15.5	15.4	15.1					
英国	6,709	2,711	40.4	1.4	▲ 9.8	▲ 6.2	20.7	前期比年率	▲ 1.2	▲ 8.0	0.6	▲ 0.7		前期比	3.8	4.5	4.8	4.7		後方3か月平均			
スイス	861	747	86.8	1.1	▲ 2.6	▲ 2.0		前期比年率	4.5	▲ 3.9	17.4	13.1		前年比	2.3	3.1	3.2	3.1	3.0				
ロシア	14,681	1,474	10.0	2.0	▲ 3.0	▲ 0.7	10.3	前年比	3.4	▲ 2.6	12.3	10.4		前年比	4.6	5.8	4.9	4.8					
オーストラリア	2,573	1,359	52.8	1.9	▲ 2.5	7.3		前期比年率	2.5	▲ 1.0	-	-	-	四半期のみの前期比	5.2	6.5	5.1	4.9	4.6				
中国	140,433	14,723	10.5	6.0	2.3	18.3	7.9	前年比	5.7	2.8	8.8	8.3	6.4	前年比	5.2	5.6	5.0	5.0	5.1				
韓国	5,178	1,631	31.5	2.2	▲ 0.9	7.1	2.7	前期比年率	0.3	▲ 0.3	▲ 1.0	2.2		前期比	3.8	3.9	3.8	3.7	3.3				
台湾	2,362	669	28.3	3.0	3.1	9.3	7.4	前年比	▲ 0.3	7.1	2.5	2.3	▲ 1.7	前期比	3.7	3.9	4.2	4.8	4.4				
香港	747	349	46.8	▲ 1.7	▲ 6.1	23.9	▲ 3.7	前期比年率	0.4	▲ 5.9	-	-	-	四半期のみの前期比	2.9	5.5	6.0	5.5	5.0				
シンガポール	577	340	58.9	1.3	▲ 5.4	13.8	▲ 7.2	前期比年率	▲ 1.5	7.5	4.4	▲ 3.0		前期比	2.3	3.0	2.8	2.7					
インドネシア	27,020	1,060	3.9	5.0	▲ 2.1	▲ 0.7	7.1	前年比	4.0					前年比	5.2	7.1	-	-	-	原数値 2,8月のみ			
マレーシア	3,294	338	10.3	4.4	▲ 5.6	▲ 0.5	16.1	前年比	2.4	▲ 4.4	▲ 3.4	1.4		前期比	3.3	4.5	4.5	4.8					
フィリピン	10,877	362	3.3	6.1	▲ 9.6	2.8	▲ 5.1	前期比年率	▲ 10.9	▲ 43.0	248.1	439.6		前年比	5.1	10.4	-	-	-	四半期のみの前期比			
タイ	6,980	502	7.2	2.3	▲ 6.1	0.8	1.5	前期比年率	▲ 3.4	▲ 9.3	25.7	17.6		前年比	1.0					原数値			
ベトナム	9,741	341	3.5	7.2	2.9	4.7	6.6	前年比	9.1	3.4	11.8	4.9	2.2	前年比	2.2	2.5	-	-	-	四半期のみの前期比			
インド	137,860	2,709	2.0	4.0	▲ 7.3	1.6		前年比	▲ 0.8	▲ 8.4	28.6	13.6		前年比	-	-	-	-	-				
ブラジル	21,142	1,434	6.8	1.4	▲ 4.1	1.0		前年比	▲ 1.1	▲ 4.5	24.0	12.0		前年比	11.9	13.2	14.6						
メキシコ	12,779	1,076	8.4	▲ 0.2	▲ 8.3	▲ 3.6	19.7	前年比	▲ 1.8	▲ 9.9	36.4	13.5		前年比	3.5	4.4	4.0	4.0		原数値			
アルゼンチン	4,539	388	8.6	▲ 2.0	▲ 9.9	2.5		前年比	-	-	30.2	19.1		前年比	9.8	11.6	-	-	-	四半期のみの前期比			
トルコ	8,417	720	8.5	0.9	1.8	7.0		前年比	▲ 0.6	1.6	41.3	23.7		前年比	13.7					原数値			
サウジアラビア	3,476	701	20.2	0.3	▲ 4.1	▲ 3.0	1.5	前年比	-	-	-	-		前年比	5.6	7.7	-	-	-	四半期のみの前期比			
南アフリカ	5,962	302	5.1	0.2	▲ 7.0	4.5		前期比年率	▲ 0.9	▲ 11.2	38.1	12.7		前年比	28.7	29.2	-	-	-	暦年のみの前期比			

(備考) 1. 各国統計より作成。人口、名目GDP、1人当たりGDPについてはIMF、ユーロスタットより作成。

2. インドは年度（4月～3月）の数値。

3. GDP、鉱工業生産の前月（期）比、失業率は特に断りのない限り季節調整値。

主要経済指標の国際比較（2）

（参考）国際機関の実質GDP見通し（％）

国・地域名	消費者物価（前年比％）								一般政府財政収支 （名目GDP比％）		一般政府債務残高 （名目GDP比％）		経常収支 （名目GDP比％）		IMF, 2021年4月		OECD, 2021年5月	
	2019年	2020年	20年			21年			2019年	2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2021年	2022年	2021年	2022年
			10-12月	1-3月	4-6月	5月	6月	7月										
日本	0.5	0.0	▲0.8	▲0.5	▲0.8	▲0.8	▲0.5	▲0.3	▲3.1 (▲2.6)	▲12.6 (▲12.9)	234.9 (190.2)	256.2 (216.3)	3.7	3.3	<u>2.8</u>	<u>3.0</u>	2.6	2.0
アメリカ	1.8	1.2	1.3	1.9	4.9	5.0	5.4	5.4	▲5.7	▲15.8	108.2	127.1	▲2.2	▲3.1	<u>7.0</u>	<u>4.9</u>	6.9	3.6
カナダ	1.9	0.7	0.8	1.4	3.4	3.6	3.1	3.7	0.5	▲10.7	86.8	117.8	▲2.1	▲1.9	<u>6.3</u>	<u>4.5</u>	6.1	3.8
ユーロ圏	1.2	0.2	▲0.3	1.1	1.8	2.0	1.9	2.2	▲0.6	▲7.6	84.0	96.9	2.3	2.3	<u>4.6</u>	<u>4.3</u>	4.3	4.4
ドイツ	1.4	0.5	▲0.2	1.3	2.4	2.5	2.3	3.8	1.5	▲4.2	59.6	68.9	7.1	7.1	<u>3.6</u>	<u>4.1</u>	3.3	4.4
フランス	1.1	0.5	0.1	0.7	1.4	1.4	1.5	1.2	▲3.0	▲9.9	98.1	113.5	▲0.7	▲2.3	<u>5.8</u>	<u>4.2</u>	5.8	4.0
イタリア	0.6	▲0.2	▲0.2	0.6	1.2	1.3	1.3	1.9	▲1.6	▲9.5	134.6	155.6	3.0	3.6	<u>4.9</u>	<u>4.2</u>	4.5	4.4
スペイン	0.7	▲0.3	▲0.7	0.6	2.6	2.7	2.7	2.9	▲2.9	▲11.5	95.5	117.1	2.1	0.7	<u>6.2</u>	<u>5.8</u>	5.9	6.3
英国	1.8	0.9	0.5	0.6	2.0	2.1	2.5	2.0	▲2.3	▲13.4	85.2	103.7	▲3.1	▲3.9	<u>7.0</u>	<u>4.8</u>	7.2	5.5
スイス	0.4	▲0.7	▲0.7	▲0.4	0.5	0.5	0.6	0.7	1.4	▲2.6	39.8	42.9	6.7	3.8	3.5	2.8	3.2	2.9
ロシア	4.5	3.4	4.5	5.5	6.0	6.0	6.5	6.5	1.9	▲4.1	13.8	19.3	3.8	2.2	<u>4.4</u>	<u>3.1</u>	3.5	2.8
オーストラリア	1.6	0.8	0.9	1.1	3.8	-	3.8	-	▲3.8	▲9.9	47.5	63.1	0.7	2.5	<u>5.3</u>	<u>3.0</u>	5.1	3.4
中国	2.9	2.5	0.1	▲0.0	1.1	1.3	1.1	1.0	▲6.3	▲11.4	57.1	66.8	1.0	2.0	<u>8.1</u>	<u>5.7</u>	8.5	5.8
韓国	0.4	0.5	0.4	1.1	2.5	2.6	2.4	2.6	0.4	▲2.8	42.2	48.7	3.6	4.6	<u>4.3</u>	<u>3.4</u>	3.8	2.8
台湾	0.6	▲0.2	▲0.0	0.8	2.1	2.5	1.9	2.0	▲1.8	▲4.3	32.7	33.7	10.6	14.1	4.7	3.0	-	-
香港	2.9	0.3	▲0.3	0.9	0.9	1.0	0.7	3.7	▲0.6	▲10.0	0.3	0.3	6.0	6.5	4.3	3.8	-	-
シンガポール	0.6	▲0.2	▲0.1	0.8	2.3	2.4	2.4	2.5	3.8	▲8.9	129.0	128.4	14.3	17.6	5.2	3.2	-	-
インドネシア	2.8	2.0	1.6	1.4	1.5	1.7	1.3	1.5	▲2.2	▲5.9	30.6	36.6	▲2.7	▲0.4	<u>3.9</u>	<u>5.9</u>	4.7	5.1
マレーシア	0.7	▲1.1	▲1.5	0.5	4.2	4.4	3.4		▲2.2	▲5.1	57.2	67.5	3.4	4.4	<u>4.7</u>	<u>6.0</u>	-	-
フィリピン	2.5	2.6	3.1	4.5	4.4	4.5	4.1	4.0	▲1.8	▲5.5	37.0	47.1	▲0.9	3.2	<u>5.4</u>	<u>7.0</u>	-	-
タイ	0.7	▲0.8	▲0.4	▲0.5	2.4	2.4	1.2	0.5	▲0.8	▲4.7	41.0	49.6	7.0	3.3	<u>2.1</u>	<u>6.1</u>	-	-
ベトナム	2.8	3.2	1.4	0.3	2.7	2.9	2.4	2.6	▲3.3	▲5.4	43.4	46.6	3.8	2.2	6.5	7.2	-	-
インド	4.8	6.2	6.4	4.9	5.6	6.3	6.3	5.6	▲7.4	▲12.3	73.9	89.6	▲0.9	1.0	<u>9.5</u>	<u>8.5</u>	9.9	8.2
ブラジル	3.7	3.2	4.3	5.3	7.7	8.1	8.4	9.0	▲5.9	▲13.4	87.7	98.9	▲2.7	▲0.9	<u>5.3</u>	<u>1.9</u>	3.7	2.5
メキシコ	3.6	3.4	3.5	4.0	6.0	5.9	5.9	5.8	▲2.3	▲4.6	53.3	60.6	▲0.3	2.5	<u>6.3</u>	<u>4.2</u>	5.0	3.2
アルゼンチン	53.6	42.7	36.4	40.6	48.4	48.8	50.2	51.8	▲4.5	▲8.9	90.2	103.0	▲0.9	1.0	<u>6.4</u>	<u>2.4</u>	6.1	1.8
トルコ	15.2	12.3	13.5	15.6	17.1	16.6	17.5	19.0	▲5.6	▲5.4	32.6	36.8	0.9	▲5.1	<u>5.8</u>	<u>3.3</u>	5.7	3.4
サウジアラビア	▲2.1	3.4	5.6	5.3	5.7	5.7	6.2	0.4	▲4.5	▲11.1	22.8	32.4	4.8	▲2.1	<u>2.4</u>	<u>4.8</u>	-	-
南アフリカ	4.1	3.3	3.2	3.1	4.8	5.2	4.9	4.6	▲5.3	▲12.2	62.2	77.1	▲3.0	2.2	<u>4.0</u>	<u>2.2</u>	3.8	2.5
世界															<u>6.0</u>	<u>4.9</u>	5.8	4.4

（備考）1. 各国統計より作成。ただし、一般政府財政収支、一般政府債務残高、経常収支については特に断りのない限りIMFより作成。

2. 日本の財政収支及び債務残高のカッコ内は、国・地方合計の年度（4月～3月）の値。内閣府より作成。

3. インドは年度（4月～3月）の数値。

（出所）IMF"World Economic Outlook"（21年4月）

（下線は21年7月にアップデートされた数値）

OECD"Economic Outlook"（21年5月）